

## WKPT ニュース

### 専門家が語る サプライチェーンのレジリエンスを高める

国内の4大会計事務所から共有された調査結果による、サプライチェーンのリスク管理は、米国の製造業の上級管理職にとって重要な経営課題である。最近、国内の産業技術研究所もサプライチェーンの強化に関するセミナーを主催され、我が社も含めて経験を持つ業界の専門家をお招きし、それぞれの情報とアイデアを共有する。



ITRIが主催するサプライチェーンの強化に関するセミナーにて、WKPTが招待され、デジタルトランスフォーメーション (DX) の経験とサプライチェーンのレジリエンスを高めるアイデアを共有した。

我が社はデジタルトランスフォーメーション (DX) の実績とサプライチェーンのレジリエンスを高めるアイデアを共有した。企業がDXを推進する旅は、ジグソーパズルのようなものだ。例えば、我が社は2019年からデジタルツールの導入をスタートした。フィールド機器のネットワーク化から始まり、部品の自動化生産ラインへと拡大していった。SPC 統計分析、スマートロジスティクス、企業ダッシュボードを徐々に追加して、最後に、リアルタイムの注文情報の構築に向かい、実現可能な未来を踏み続く。一方で、デジタルツールを活用して、社内組織の回復力を向上し、上流・下流の協力パートナーとのつながりを持つことで、サプライチェーンのレジリエンスを高めると共に未知のリスクへの対応力を強化する。

## 情報エクスプレス

### アルミ合金の防錆



硬質アルマイト処理によるアルミ合金は錆び難く傷つきも難くなる。

アルミニウム合金は活性が高く、空気に触れるとすぐに酸化皮膜を形成し、環境による底部の腐食を防止可能である。しかし、酸化皮膜は自然に発生するものなので、長期間さらされると必ず錆びになるため、アルマイト処理の実施によるアルミ合金の表面を保護することがよくある。例えば、我が社の実績の一つ、医療検査機器向けの6061T6アルミ合金ケーシングは硬質アルマイト処理をしている。硬質アルマイトは、通常のアルマイトより膜厚が厚く、表面硬度と耐食性に優れている。温度/電圧/電流密度などの条件を適切に設定し、処理後の部品表面に膜厚25µm、硬度HV500の保護層を形成され、ISO10074の規制に適合する。アルミ合金の数多くの工業用途の中、医療分野で求められる軽量、高強度、耐酸・耐アルカリ試験などの要求にも我が社で対応可能である。

## 産業ニュース

### レジリエントの高いサプライチェーンを構築する4つの方法

“What emerges are four components important to a successful supplier management strategy: strengthening existing relationships, engaging multiple suppliers, deploying digital tools for increased visibility, and combining efficiency with resilience.” [Meeting the challenge of supply chain disruption](#)

デロイト(Deloitte)から「サプライチェーンの混乱への対策」のテーマにて米国の200社の製造業者を対象とする調査結果によると、サプライチェーンの危機に対する4つの方法がまとめられている。その4つの方法は、「既存関係の強化」、「供給の多様化」、「供給状況の可視性の向上」「ジャストインタイムの生産方法」である。我が社もサプライチェーンの一員として、我々の対策は次のようになる：

「既存の関係の強化」：サプライチェーン関係の安定は、スムーズに安定供給する鍵である。我が社がお客先とサプライヤーとの関係は非常に重視し、両方にも密接なつながりがあるこそ、供給が安定し、皆様と共に成長している。

「供給の多様化」：アルミニウム合金の加工分野の設備と人材への投資を拡大し続けている。現在増設中の新工場はアルミ合金加工工場とし、最近でも研究開発・生産技術においてアルミ合金加工向けのCATIA教育訓練を強化し、アルミ合金加工の技術力を向上し、アルミ加工領域のビジネスを広げる。

「可視性の向上」：我が社は2019年にスマートマニュファクチャリングを導入して以来、社内から顧客とサプライヤー側までの可視性を徐々に高めている。したがって、効果的な意思決定を行い、無駄を減らし、運用効率を向上させる。

「ジャストインタイムの生産方法」：供給の混乱に対して、我が社は供給バランスを確立し、回復力を維持できるように、供給の仕組みとシステム全体を徹底的に見直し、2023年のニューノーマル時代を迎えます。



リスクを軽減するための包括的な4つのアプローチである。イメージ: Deloitte analysis of 2022 manufacturing supply chain study data